

新潟県のお米を遺伝子汚染から守る為に GMイネ野外実験即時中止を求めます!!

日本有数の米生産地である新潟県上越市の北陸研究センターで行われている、遺伝子組み換え（GM）イネ栽培試験の即時中止を求めます。新潟県の消費者、生産者を始め全国の中止を求める国民の声を無視し、昨年実験は強行されました。本年も7月20日の田植えに向け準備を進めていると聞いております。

GM技術はいまだ安全性は確立しておらず、多くの消費者はGM食品を食べることに不安をもっています。もし上越市の試験栽培で、周辺農家のイネと交雑したり、混入するなど遺伝子汚染が起きれば、新潟県産米に対する消費者の信頼は一気に失墜するでしょう。圃場に出現しつづける耐性菌の人体や生態系への危険性も多くの研究者から指摘されております。

これからも安全で安心できる新潟県産米を食べつづけられるように、次のことを求めます。

1. 北陸研究センターでの遺伝子組み換えイネの野外実験の即時中止を強く求めます。
2. 昨年強行された試験栽培野外実験の結果を詳細に報告し説明責任を果たして下さい。
3. 圃場に出現が危惧されている耐性菌の発生状況を第三者機関も入れすみやかに調査し報告されたい。

氏 名	住 所

署名は北陸研究センター宛以外の使用は致しません。